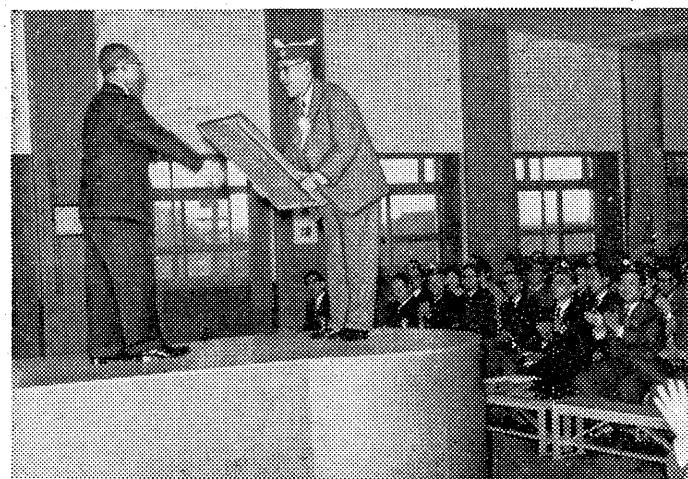


第一回定例市議会
新予算を始め
奨学基金印鑑条例ほか審議

三月市議会は、予算市会とも呼ばれるように、新年度の当初予算の審議がなされる市議会で、本市では、三月五日から三月二十六日にいたる三十日間に亘って予算案外多数議案を審議されたのであります。ここに、本会議のうきについて、お知らせいたします。

第一日の本会議は、三月五日、午前十時二十十分開会、議長より会期、日程及び署名議員氏名の宣誓があつて議事に入る。まず市長の三十二年度関係議案についての概略説明、次に監視三号の口頭説明があつたのち、昨年十一月十一日の本会議で付託され、今日まで前後七回に亘つて審議が重ねられた三十二年度各会計歳入歳出決算について、特別委員長より、認定すべきものと報告があり、報告通り認定。又文教委員長より、市外通学に関する調査研究の結果を、について、特別委員長より、認定について、特別委員長より、認定すべきものと報告があり、報告通り認定。又文教委員長より、市外通学に関する調査研究の結果を、



チャーターを受ける岩田会長

四月廿一日午後一時から芦屋ライオンズクラブのチャーター伝達式が、大原町田中千代学園で行われた。式典は岩田会長のゴンゴーが始まり内海市長の挨拶の後、チャーターハンドルは日本地区ガバナー原勝巳氏より岩田会長に伝達された。来賓はいすれも司決(承認)。夫々報告、了承。次に報告二号会、議案十一一二三号(昭和三

更正予算)二十四号(財政再建計画の変更)の総務委員長報告を報告通り可決。

第三日の本会議は、三月十日、再会、七議員から五時間に亘つて總括質問。

第四日の本会議は、三月十一日、再会、冒頭、芦屋開発株式会社に対する公会堂一部使用許可について、緊急質問、条例違反の恐れありと指摘、理事者善処の旨答弁。

第六日の本会議は、三月二十六日再会。

次に新年度予算について、大多数の議員より、活発に一般質問。そのうち、議案十一二十七号を上程、何れも各委員会付託。

第五日の本会議は、三月十九日、再会、水道料金値上げ反対の請願を受理、紹介議員より主旨説明、建

設委員会付託。

次に休会中審議されていた、議案十(昭和三十一年度一般会計追加予算)は、尚慎重審議を要

りとすれも可決(承認)。

第一日の本会議は、三月六日、再会、議案十一一二三号(寄附採納)

はいすれも可決(承認)。

第一回定例市議会は、三月六日、再会、議案十一一二三号(寄附採納)

昭和32年工業調査結果表

区分	工場数	従業者数	製品出荷額等(千円)	比率			従業者1人当り出荷額(千円)
				工場	従業者	(%)	
総 数	79	489人	324,544	100	100	100	664
品 製 造 業	28	209	127,749	35.4	42.8	39.5	611
織 織 工 業	4	47	50,964	5.1	9.7	15.8	1,084
木 家 具 制 作	4	11	7,760	5.1	2.2	2.5	705
木 装 備	14	37	17,512	17.7	7.6	5.5	473
紙 加 工	2	4	1,160	2.5	0.8	0.4	290
印 刷	7	35	12,891	8.8	7.2	4.1	368
化 学 工 業	3	33	20,713	8.8	6.9	6.4	628
金 属 加 工	7	7	3,880	8.8	1.4	0.1	554
機 械 制 作	5	40	18,695	6.4	8.1	5.8	467
機 械 輸 送	5	42	31,888	6.3	8.6	10.1	759
其 他 の 製 造 業	4	24	31,332	5.1	4.9	9.8	1,306

めたつ日用物資の製造

昭和32年工業調査の速報

昭和32年工業統計調査は、昨年十二月三十一日現在で行われました。その結果の地方集計の概数を、とのあえずお知らせいたします。

いとります。原票は目下統計局で集計を急いでいますので、不

日公式発表をみることでしよう。

（1）工場数が少い。前述した通り、本店は四つあり、又業種別では、

は、本社本店は四つあり、又業種別では、最も多く

は、家具装備品の「四つこれについて」である。食料品、織維、衣服、木

材、家具、紙、印刷等を包括して、

軽工業、金属機械等を重工業又

は、化学工業、皮革、織物等を化学工

業と大きく三分するが、第一の工

場数は六三、第二は一〇、第三は

六となる。

（2）従業者の数

従業者数は四八九人、その内訳は

軽工業三六七人、重工業八二人、

化学工業四人で、一工場当たり平均

従業者は軽工業五・八人、重工業

八・二人、化学工業六・六人とな

る。業種別では二〇九人の食料品

が最高で、以下家具三七人、出版

八・二人、化学工業六・六人とな

る。業種別では二〇九人の食料品

が最高で、以下家具三七人、出版

が最も多く

です。

（3）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（4）そこで結論として、芦屋市

も小さい。最大の従業者は、

工場でも六人、二〇人以上の工

場二、十五人以上の工場六にすぎ

ません。

（5）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（6）そこで結論として、芦屋市

も小さい。最大の従業者は、

工場でも六人、二〇人以上の工

場二、十五人以上の工場六にすぎ

ません。

（7）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（8）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（9）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（10）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（11）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（12）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（13）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（14）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（15）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（16）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（17）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（18）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（19）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

大きな幅をとっています。

（20）業種では軽工業、就中食料

品の出荷額は、

二八、四六千円、衣服の二二、

五千〇千円輸送用機械一二三

千円化学工業一四、五九三千円に

なります。ここでも食料品部門は

